

# ダイワ／ジャナス米国中型 グロース株ファンド (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

## 運用報告書(全体版) 第13期

(決算日 2024年4月18日)

(作成対象期間 2023年10月19日～2024年4月18日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の中型株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先（コールセンター）  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<2750>  
<2751>

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	2017年10月19日～2027年10月18日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資 対 象	ベビーファンド	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドの受益証券	
	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）および不動産投資信託証券	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

為替ヘッジあり

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		株式組入比率	株式先物比率	投資証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
9期末(2022年4月18日)	12,400	0	△ 7.8	18,142	△ 1.3	99.7	—	1.9	1,147
10期末(2022年10月18日)	10,409	0	△ 16.1	15,280	△ 15.8	95.7	—	1.7	767
11期末(2023年4月18日)	11,493	40	10.8	17,354	13.6	95.0	—	2.0	692
12期末(2023年10月18日)	10,843	200	△ 3.9	18,383	5.9	95.4	—	1.6	528
13期末(2024年4月18日)	11,603	100	7.9	21,224	15.5	91.9	—	1.3	514

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

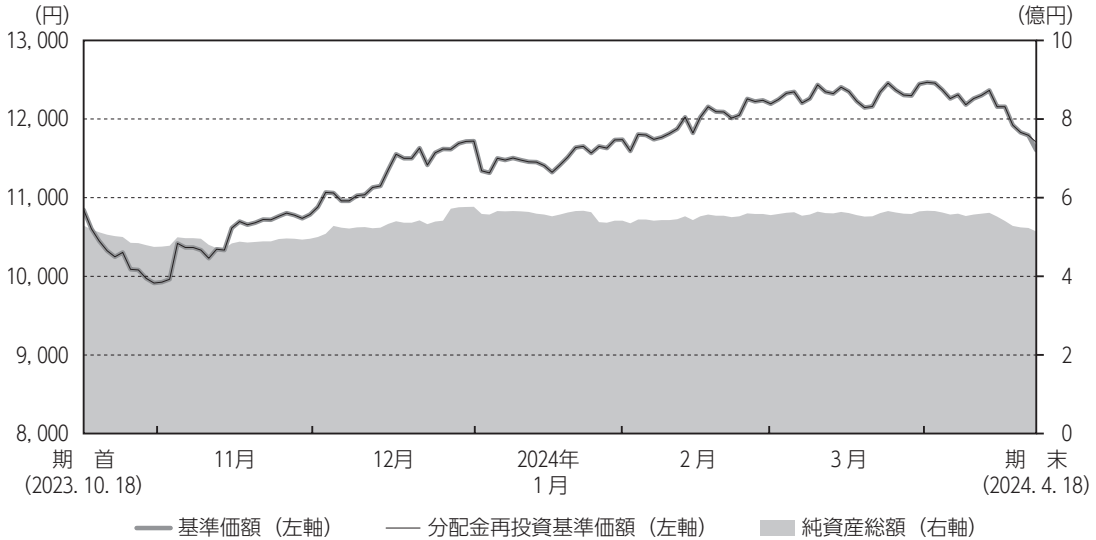
(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「SPDJ」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P<sup>®</sup>、S & P 500<sup>®</sup>、US 500、The 500、iBoxx<sup>®</sup>、iTraxx<sup>®</sup> および CDX<sup>®</sup> は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones<sup>®</sup> は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり）は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：10,843円

期末：11,603円（分配金100円）

騰落率：7.9%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

米国中型株式市況が上昇したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後 配当込み、米ドルベース)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資証券 組入比率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首)2023年10月18日	10,843	—	18,383	—	95.4	—	1.6
10月末	9,914	△ 8.6	17,519	△ 4.7	92.8	—	1.7
11月末	10,786	△ 0.5	19,156	4.2	92.2	—	1.9
12月末	11,721	8.1	20,155	9.6	93.5	—	1.8
2024年1月末	11,738	8.3	20,765	13.0	95.0	—	1.9
2月末	12,195	12.5	21,397	16.4	95.6	—	1.4
3月末	12,467	15.0	22,196	20.7	98.3	—	1.4
(期末)2024年4月18日	11,703	7.9	21,224	15.5	91.9	—	1.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2023. 10. 19 ～ 2024. 4. 18）

### ■米国中型株式市況

米国中型株式市場は上昇しました。

米国中型株式市場は、当作成期首より、市場予想を上回る米国経済指標の発表を受け、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利上げ長期化観測が強まり、下落して始まりしました。2023年11月に入ると、インフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことや、F R B議長が将来の利下げについての議論を始めたことと述べたことを受けて利下げ観測が高まったことなどが好感され、上昇しました。2024年1月以降も、インフレ率の鈍化傾向が継続したことやA I（人工知能）関連の半導体関連企業が良好な決算を発表したこと、製造業の景況感が改善したことなどが好感され、上昇しました。4月に入ると、インフレ再燃が警戒されたことから、やや調整して当作成期末を迎えました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスク低減のため為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

F R B（米国連邦準備制度理事会）による金融引き締め長期化と、それによる景気への悪影響について、慎重にみています。F R Bは、インフレが目標とする水準に向かい持続的に低下していると確信するまで、金利を制約的な水準に維持するとみられます。米国経済は全般的には堅調といえますが、一部の経済指標は悪化し始めており、利上げ効果の浸透により、今後景気が一段と減速する可能性があります。

米国経済は、金融危機後長らく続いた低金利下での高成長時代から、高金利下での低成長時代へと移行しつつあると考えます。一方、米国外では、中国における景気減速やロシア・ウクライナ戦争の長期化によるエネルギー価格の高止まりなどといった懸念要因が併存しています。

当ファンドは、ファンダメンタルズを重視しつつ、適正なバリュエーションを持つ銘柄を選好することで、長期的に良好なリスク調整後リターンを獲得をめざします。引き続き、良好なバランスシート、持続性のある競争力、安定した収益見通しが期待できる銘柄の発掘に注力していく方針です。

## ポートフォリオについて

（2023. 10. 19 ～ 2024. 4. 18）

### ■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券に投資し、組入比率を高位に維持しました。

また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスク低減のため為替ヘッジを行いました。

### ■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

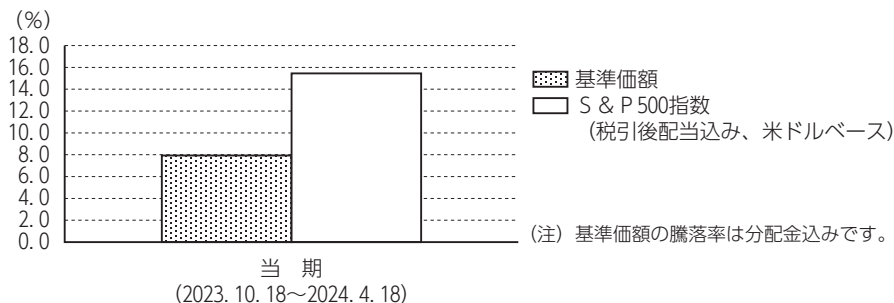
当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

株式組入比率は高位を維持しました。セクター別では、資本財・サービスや公益事業などの比率を上げた一方、割高感が強まった情報技術の比率を下げました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年10月19日 ～2024年4月18日	
<b>当期分配金（税込み）</b>	<b>(円)</b>	<b>100</b>
対基準価額比率	(%)	0.85
当期の収益	(円)	48
当期の収益以外	(円)	51
翌期繰越分配対象額	(円)	2,920

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	48.73円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		992.27
(d) 分配準備積立金	✓	1,979.40
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		3,020.42
(f) 分配金		100.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		2,920.42

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスク低減のため為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

健全な労働市場や底堅い個人消費などを背景に、米国経済が堅調さを維持していることや、インフレ圧力の緩和に伴い、利下げの可能性が高まっていることは、米国中型株式市場にとってプラス材料であるとみています。一方で、最近の株高は、力強い経済成長やインフレ圧力の後退、金利の低下など株式市場にとって好ましいシナリオが続くことへの期待感に支えられていることから、インフレ率上昇など想定外のイベントが発生した場合には市場に失望感が広がり、株価の下落幅が大きくなるリスクがあると考えます。

このような理由から、当戦略は引き続き、こうしたリスクを意識したポジションを維持し、バリュエーションが収益成長に見合わない銘柄への投資を回避しています。銘柄選択にあたっては、良好なバランスシート、持続性のある競争力、安定した収益見通しが期待できる銘柄の発掘に注力していくとともに、まだ市場で十分に認知されていない、長期的な成長テーマに注目しています。例えば、当戦略では最近、電力会社の組入比率を引き上げました。AI（人工知能）や電気自動車の普及により電力需要が増加していることに加え、送電網の信頼性向上やクリーン・エネルギーへの転換のための電力インフラ（社会基盤）投資が加速していくと予想しています。



## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 10. 19~2024. 4. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
<b>信 託 報 酬</b>	103円	0. 896%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11, 502円です。
（投 信 会 社）	(54)	(0. 467)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(47)	(0. 412)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0. 016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
<b>売 買 委 託 手 数 料</b>	1	0. 011	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(1)	(0. 011)	
（投 資 証 券）	(0)	(0. 000)	
<b>有 価 証 券 取 引 税</b>	0	0. 000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(0)	(0. 000)	
（投 資 証 券）	(0)	(0. 000)	
<b>そ の 他 費 用</b>	3	0. 023	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(2)	(0. 019)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0. 001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
<b>合 計</b>	107	0. 931	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

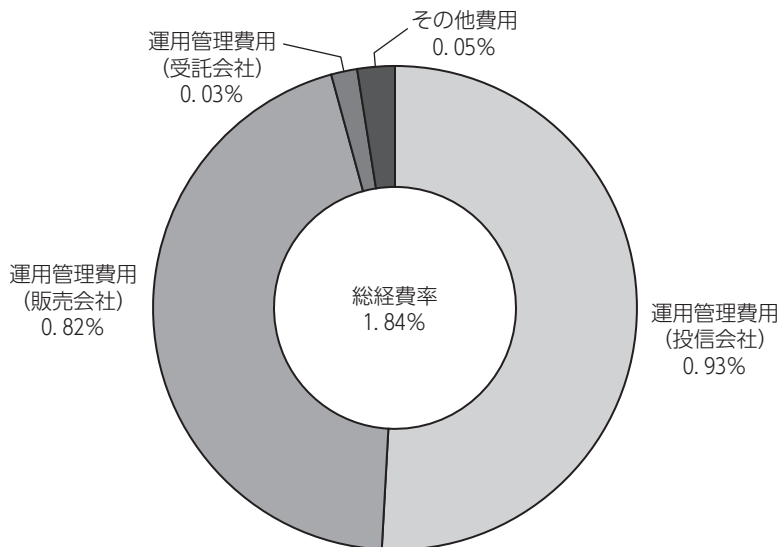
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2023年10月19日から2024年4月18日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	35,272	86,600	77,403	195,800

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2023年10月19日から2024年4月18日まで）

項 目	当 期
	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,635,791千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,715,622千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.28

（注1）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

（注2）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円	千口	千口	千円
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	227,872	185,741	503,100			

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年4月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	503,100	91.1
コール・ローン等、その他	49,159	8.9
投資信託財産総額	552,259	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝154.46円です。

（注3）ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（5,586,028千円）の投資信託財産総額（6,305,556千円）に対する比率は、88.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年4月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,046,045,560円
コール・ローン等	27,759,175
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド（評価額）	503,100,120
未収入金	515,186,265
(B) 負債	531,687,735
未払金	522,430,490
未払収益分配金	4,432,962
未払信託報酬	4,809,622
その他未払費用	14,661
(C) 純資産総額 (A - B)	514,357,825
元本	443,296,252
次期繰越損益金	71,061,573
(D) 受益権総口数	443,296,252口
1万口当り基準価額 (C / D)	11,603円

\*期首における元本額は487,707,196円、当作成期間中における追加設定元本額は51,605,824円、同解約元本額は96,016,768円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は11,603円です。

■損益の状況

当期 自 2023年10月19日 至 2024年 4月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	613円
受取利息	663
支払利息	△ 50
(B) 有価証券売買損益	40,691,628
売買益	111,315,100
売買損	△ 70,623,472
(C) 信託報酬等	△ 4,831,215
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	35,861,026
(E) 前期繰越損益金	△ 785,032
(F) 追加信託差損益金	40,418,541
(配当等相当額)	( 43,987,228)
(売買損益相当額)	(△ 3,568,687)
(G) 合計 (D + E + F)	75,494,535
(H) 収益分配金	△ 4,432,962
次期繰越損益金 (G + H)	71,061,573
追加信託差損益金	40,418,541
(配当等相当額)	( 43,987,228)
(売買損益相当額)	(△ 3,568,687)
分配準備積立金	85,473,974
繰越損益金	△ 54,830,942

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：1,345,084円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,160,546円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	43,987,228
(d) 分配準備積立金	87,746,390
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	133,894,164
(f) 分配金	4,432,962
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	129,461,202
(h) 受益権総口数	443,296,252口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	100円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

為替ヘッジなし

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
9期末(2022年4月18日)	13,993	100	2.2	20,340	9.4	95.7	—	1.8	6,413
10期末(2022年10月18日)	13,914	150	0.5	20,134	△ 1.0	94.1	—	1.7	5,509
11期末(2023年4月18日)	14,372	0	3.3	20,653	2.6	94.4	—	1.9	5,272
12期末(2023年10月18日)	15,118	700	10.1	24,380	18.0	94.1	—	1.6	5,222
13期末(2024年4月18日)	15,885	1,500	15.0	29,014	19.0	91.9	—	1.3	5,260

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数（税引後配当込み、円換算）は、S & P 500指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

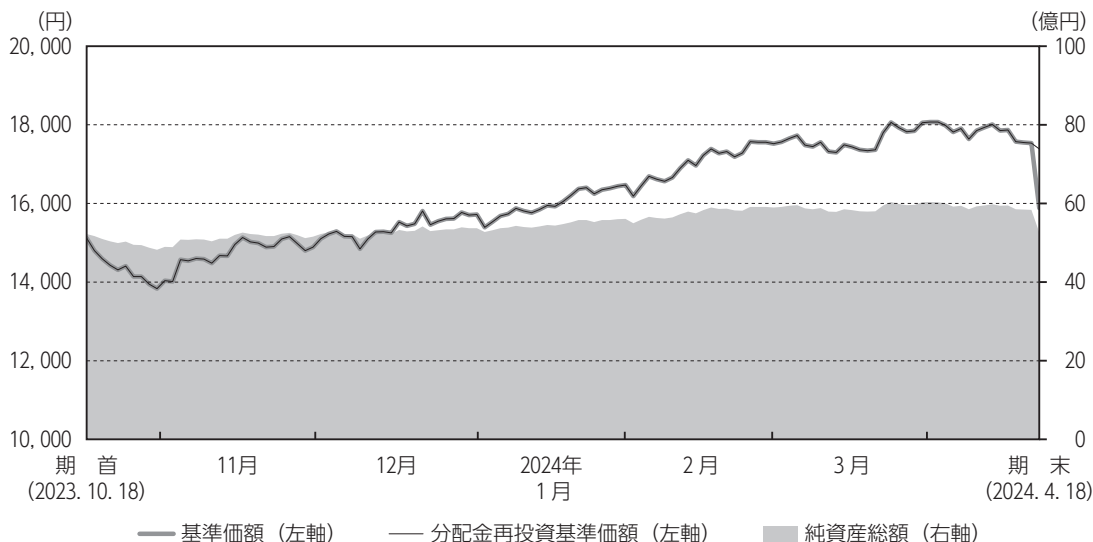
(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P<sup>®</sup>、S & P 500<sup>®</sup>、US 500、The 500、iBoxx<sup>®</sup>、iTraxx<sup>®</sup> および CDX<sup>®</sup> は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones<sup>®</sup> は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし）は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：15,118円

期末：15,885円（分配金1,500円）

騰落率：15.0%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

米国中型株式市況が上昇したことや、米ドルが対円で上昇（円安）したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資証券 組入比率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首)2023年10月18日	15,118	—	24,380	—	94.1	—	1.6
10月末	13,833	△ 8.5	23,181	△ 4.9	92.9	—	1.7
11月末	14,887	△ 1.5	24,933	2.3	93.7	—	1.9
12月末	15,717	4.0	25,300	3.8	95.0	—	1.9
2024年1月末	16,465	8.9	27,117	11.2	95.2	—	1.9
2月末	17,518	15.9	28,532	17.0	95.9	—	1.4
3月末	18,071	19.5	29,744	22.0	96.8	—	1.4
(期末)2024年4月18日	17,385	15.0	29,014	19.0	91.9	—	1.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2023. 10. 19 ～ 2024. 4. 18）

### ■米国中型株式市況

米国中型株式市場は上昇しました。

米国中型株式市場は、当作成期首より、市場予想を上回る米国経済指標の発表を受け、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利上げ長期化観測が強まり、下落して始まりました。2023年11月に入ると、インフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことや、F R B議長が将来の利下げについての議論を始めたことを受けて利下げ観測が高まったことなどが好感され、上昇しました。2024年1月以降も、インフレ率の鈍化傾向が継続したことやA I（人工知能）関連の半導体関連企業が良好な決算を発表したこと、製造業の景況感が改善したことなどが好感され、上昇しました。4月に入ると、インフレ再燃が警戒されたことから、やや調整して当作成期末を迎えました。

### ■為替相場

米ドルは対円で上昇しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、日銀による政策修正や米国金利の低下を受け、下落（円高）しました。2024年に入ってから、米国金利の上昇や日銀による金融政策の維持などを背景に円安米ドル高に転じ、2月に入っても、日銀の副総裁がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する見通しと発言したことなどから、円安米ドル高基調となりました。当作成期末にかけては、日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安基調が継続しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

### ■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

F R B（米国連邦準備制度理事会）による金融引き締めの長期化と、それによる景気への悪影響について、慎重にみています。F R Bは、インフレが目標とする水準に向かい持続的に低下していると確信するまで、金利を制約的な水準に維持するとみられます。米国経済は全般的には堅調といえますが、一部の経済指標は悪化し始めており、利上げ効果の浸透により、今後景気が一段と減速する可能性があります。



米国経済は、金融危機後長らく続いた低金利下での高成長時代から、高金利下での低成長時代へと移行しつつあると考えます。一方、米国外では、中国における景気減速やロシア・ウクライナ戦争の長期化によるエネルギー価格の高止まりなどといった懸念要因が併存しています。

当ファンドは、ファンダメンタルズを重視しつつ、適正なバリュエーションを持つ銘柄を選好することで、長期的に良好なリスク調整後リターンの獲得をめざします。引き続き、良好なバランスシート、持続性のある競争力、安定した収益見通しが期待できる銘柄の発掘に注力していく方針です。

## ポートフォリオについて

(2023. 10. 19 ~ 2024. 4. 18)

### 当ファンド

「ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券に投資し、組入比率を高位に維持しました。

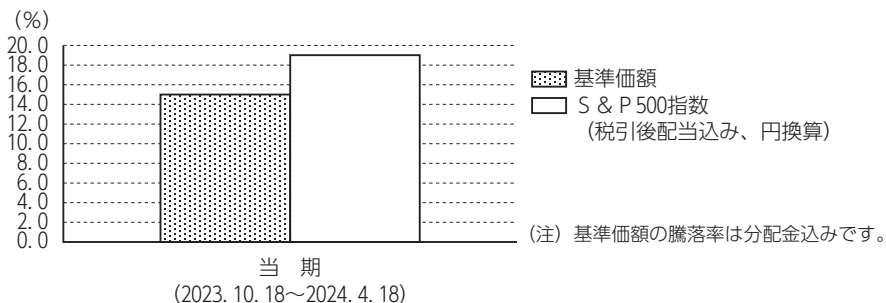
### ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

株式組入比率は高位を維持しました。セクター別では、資本財・サービスや公益事業などの比率を上げた一方、割高感が強まった情報技術の比率を下げました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年10月19日 ～2024年4月18日	
当期分配金（税込み）	（円）	1,500
対基準価額比率	（％）	8.63
当期の収益	（円）	1,500
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	5,884

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	72.10円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	2,172.10
(c) 収益調整金		862.96
(d) 分配準備積立金		4,277.54
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）		7,384.71
(f) 分配金		1,500.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）		5,884.71

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

### ■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

健全な労働市場や底堅い個人消費などを背景に、米国経済が堅調さを維持していることや、インフレ圧力の緩和に伴い、利下げの可能性が高まっていることは、米国中型株式市場にとってプラス材料であるとみています。一方で、最近の株高は、力強い経済成長やインフレ圧力の後退、金利の低下など株式市場にとって好ましいシナリオが続くことへの期待感に支えられていることから、インフレ率上昇など想定外のイベントが発生した場合には市場に失望感が広がり、株価の下落幅が大きくなるリスクがあると考えます。

このような理由から、当戦略は引き続き、こうしたリスクを意識したポジションを維持し、バリュエーションが収益成長に見合わない銘柄への投資を回避しています。銘柄選択にあたっては、良好なバランスシート、持続性のある競争力、安定した収益見通しが期待できる銘柄の発掘に注力していくとともに、まだ市場で十分に認知されていない、長期的な成長テーマに注目しています。例えば、当戦略では最近、電力会社の組入比率を引き上げました。AI（人工知能）や電気自動車の普及により電力需要が増加していることに加え、送電網の信頼性向上やクリーン・エネルギーへの転換のための電力インフラ（社会基盤）投資が加速していくと予想しています。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 10. 19～2024. 4. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	145円	0.896%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は16,192円です。
（投 信 会 社）	(76)	(0.467)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(67)	(0.412)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(3)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0.011	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(2)	(0.011)	
（投 資 証 券）	(0)	(0.000)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(0)	(0.000)	
（投 資 証 券）	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	4	0.022	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(3)	(0.019)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	151	0.930	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

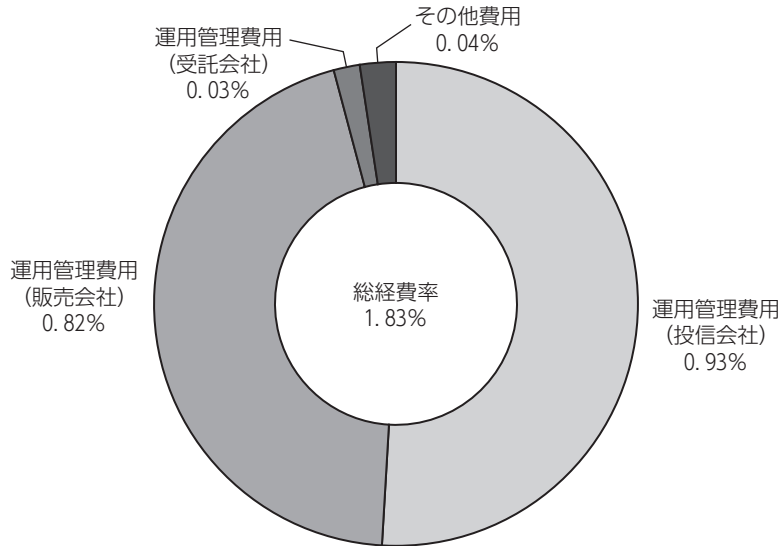
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.83%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし）

### ■売買および取引の状況

#### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2023年10月19日から2024年4月18日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	51,536	118,400	371,554	986,100

（注）単位未満は切捨て。

### ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2023年10月19日から2024年4月18日まで）

項 目	当 期
	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,635,791千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,715,622千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.28

（注1）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

（注2）単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

### ■組入資産明細表

#### 親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	2,219,968	1,899,949	5,146,203

（注）単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2024年4月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	5,146,203	88.1
コール・ローン等、その他	692,176	11.9
投資信託財産総額	5,838,379	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝154.46円です。

（注3）ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（5,586,028千円）の投資信託財産総額（6,305,556千円）に対する比率は、88.6%です。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年4月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	5,838,379,411円
コール・ローン等	60,676,036
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド（評価額）	5,146,203,375
未収入金	631,500,000
(B) 負債	577,702,207
未払収益分配金	496,767,787
未払解約金	31,447,877
未払信託報酬	49,335,298
その他未払費用	151,245
(C) 純資産総額 (A－B)	5,260,677,204
元本	3,311,785,248
次期繰越損益金	1,948,891,956
(D) 受益権総口数	3,311,785,248口
1万口当り基準価額 (C/D)	15,885円

\* 期首における元本額は3,454,667,961円、当作成期間中における追加設定元本額は97,608,701円、同解約元本額は240,491,414円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は15,885円です。

■損益の状況

当期 自 2023年10月19日 至 2024年 4月18日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>1,747円</b>
受取利息	2,609
支払利息	△ 862
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>792,717,205</b>
売買益	825,061,994
売買損	△ 32,344,789
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 49,486,543</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>743,232,409</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>1,416,632,673</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>285,794,661</b>
(配当等相当額)	( 285,785,004)
(売買損益相当額)	( 9,657)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>2,445,659,743</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 496,767,787</b>
<b>次期繰越損益金 (G + H)</b>	<b>1,948,891,956</b>
追加信託差損益金	285,794,661
(配当等相当額)	( 285,785,004)
(売買損益相当額)	( 9,657)
分配準備積立金	1,663,097,295

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：13,755,916円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	23,878,127円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	719,354,282
(c) 収益調整金	285,794,661
(d) 分配準備積立金	1,416,632,673
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,445,659,743
(f) 分配金	496,767,787
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,948,891,956
(h) 受益権総口数	3,311,785,248口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	1,500円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて
<ul style="list-style-type: none"> <li>・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。</li> <li>・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。</li> <li>・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。</li> <li>・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。</li> </ul>

# ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

## 運用報告書 第13期（決算日 2024年4月18日）

（作成対象期間 2023年10月19日～2024年4月18日）

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）および不動産投資信託証券
株式組入制限	無制限

## 大和アセットマネジメント

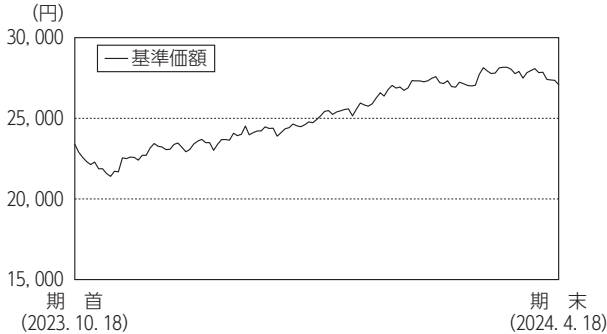
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>



■当作成期中の基準価額と市況等の推移

《運用経過》



年月日	基準価額		S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		株式組入比率	株式先物比率	投資証券組入比率
	円	騰落率	参考指数	騰落率	%	%	%
(期首) 2023年10月18日	23,392	—	24,380	—	94.6	—	1.6
10月末	21,398	△ 8.5	23,181	△ 4.9	93.1	—	1.7
11月末	23,065	△ 1.4	24,933	2.3	93.7	—	1.9
12月末	24,384	4.2	25,300	3.8	95.2	—	1.9
2024年1月末	25,586	9.4	27,117	11.2	95.3	—	1.9
2月末	27,260	16.5	28,532	17.0	95.8	—	1.4
3月末	28,160	20.4	29,744	22.0	96.7	—	1.4
(期末) 2024年4月18日	27,086	15.8	29,014	19.0	94.0	—	1.3

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：23,392円 期末：27,086円 騰落率：15.8%

【基準価額の主な変動要因】

米国中型株式市況が上昇したことや、米ドルが対円で上昇 (円安) したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国中型株式市況

米国中型株式市場は上昇しました。

米国中型株式市場は、当作成期首より、市場予想を上回る米国経済指標の発表を受け、F R B (米国連邦準備制度理事会) による利上げ長期化観測が強まり、下落して始まりました。2023年11月に入ると、インフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことや、F R B 議長が将来の利下げについての議論を始めたことを受けて利下げ観測が高まったことなどが好感され、上昇しました。2024年1月以降も、インフレ率の鈍化傾向が継続したことやA I (人工知能) 関連の半導体関連企業が良好な決算を発表したこと、製造業の景況感が改善したことなどが好感され、上昇しました。4月に入ると、インフレ再燃が警戒されたことから、やや調整して当作成期末を迎えました。

○為替相場

米ドルは対円で上昇しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、日銀による政策修正や米国金利の低下を受け、下落 (円高) しました。2024年に入ってから、米国金利の上昇や日銀による金融政策の維持などを背景に円安米ドル高に転じ、2月に入っても、日銀の副総裁がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する見通しと発言したことなどから、円安米ドル高基調となりました。当作成期末にかけては、日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安基調が継続しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

F R B (米国連邦準備制度理事会) による金融引き締め長期化と、それによる景気への悪影響について、慎重にみています。F R B は、インフレが目標とする水準に向かい持続的に低下していると確信するまで、金利を制約的な水準に維持するとみられます。米国経済は全般的には堅調といえますが、一部の経済指標は悪化し始めており、利上げ効果の浸透により、今後景気が一段と減速する可能性があります。

米国経済は、金融危機後長らく続いた低金利下での高成長時代から、高金利下での低成長時代へと移行しつつあると考えます。一方、米国外では、中国における景気減速やロシア・ウクライナ戦争の長期化によるエネルギー価格の高止まりなどといった懸念要因が併存しています。

当ファンドは、ファンダメンタルズを重視しつつ、適正なバリュエーションを持つ銘柄を愛好することで、長期的に良好なリスク調整後リターンを獲得をめざします。引き続き、良好なバランスシート、持続性のある競争力、安定した収益見通しが期待できる銘柄の発掘に注力していく方針です。

# ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

## ◆ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

株式組入比率は高位を維持しました。セクター別では、資本財・サービスや公益事業などの比率を上げた一方、割高感が強まった情報技術の比率を下げました。

## ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

## 《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

健全な労働市場や底堅い個人消費などを背景に、米国経済が堅調さを維持していることや、インフレ圧力の緩和に伴い、利下げの可能性が高まっていることは、米国中型株式市場にとってプラス材料であるとみています。一方で、最近の株高は、力強い経済成長やインフレ圧力の後退、金利の低下など株式市場にとって好ましいシナリオが続くことへの期待感に支えられていることから、インフレ率上昇など想定外のイベントが発生した場合には市場に失望感が広がり、株価の下落幅が大きくなるリスクがあると考えます。

このような理由から、当戦略は引き続き、こうしたリスクを意識したポジションを維持し、バリュエーションが収益成長に見合わない銘柄への投資を回避しています。銘柄選択にあたっては、良好なバランスシート、持続性のある競争力、安定した収益見通しが期待できる銘柄の発掘に注力していくとともに、まだ市場で十分に認知されていない、長期的な成長テーマに注目しています。例えば、当戦略では最近、電力会社の組入比率を引き上げました。AI（人工知能）や電気自動車の普及により電力需要が増加していることに加え、送電網の信頼性向上やクリーン・エネルギーへの転換のための電力インフラ（社会基盤）投資が加速していくと予想しています。

## (2) 投資証券

銘柄		買付		売付	
		□ 数	金額	□ 数	金額
外国	アメリカ LAMAR ADVERTISING CO-A	千□	千アメリカ・ドル	千□	千アメリカ・ドル
		—	—	2.82	312

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■ 1万口当りの費用の明細

項目	当	期
売買委託手数料		3円
(株式)	(	3)
(投資証券)	(	0)
有価証券取引税		0
(株式)	(	0)
(投資証券)	(	0)
その他費用		5
(保管費用)	(	5)
(その他)	(	0)
合計		8

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

## ■ 売買および取引の状況

### (1) 株式

(2023年10月19日から2024年4月18日まで)

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外国	アメリカ	百株	千アメリカ・ドル	百株	千アメリカ・ドル
		413.43 (110.07)	2,301 (△ 3)	1,101.52	8,511

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

株 式

(2023年10月19日から2024年4月18日まで)

当 期				期 末			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
DTE ENERGY COMPANY (アメリカ)	3.285	54,659	16,639	INGERSOLL-RAND INC (アメリカ)	3.805	49,265	12,947
RENTOKIL INITIAL ADS EACH REPRESENTING (イギリス)	12.895	51,217	3,971	NEXTRACKER INC CLASS A (アメリカ)	7.233	46,203	6,387
API GROUP CORP (アメリカ)	7.015	35,584	5,072	BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC (アメリカ)	3.345	44,155	13,200
DOORDASH INC - A (アメリカ)	1.978	31,902	16,128	BOSTON SCIENTIFIC CORP (アメリカ)	4.163	42,541	10,218
VAXCYTE INC (アメリカ)	3.623	29,308	8,089	LAM RESEARCH CORP (アメリカ)	0.305	42,381	138,957
TELEFLEX INC (アメリカ)	0.804	27,672	34,418	WR BERKLEY CORP (アメリカ)	2.887	36,455	12,627
WAYFAIR INC- CLASS A (アメリカ)	2.337	20,419	8,737	GODADDY INC - CLASS A (アメリカ)	1.827	35,175	19,253
FORTIVE CORP (アメリカ)	1.738	17,869	10,281	ATLIASSIAN CORP PLC-CLASS A (アメリカ)	0.949	34,462	36,314
VERALTO CORP (アメリカ)	1.245	12,857	10,327	TE CONNECTIVITY LTD (スイス)	1.599	33,041	20,663
ALLIANT ENERGY CORP (アメリカ)	1.637	11,832	7,228	WEX INC (アメリカ)	0.871	31,814	36,526

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国株式

銘 柄	期 首		当 期		期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額				
			外貨建金額	邦貨換算金額			
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円			
(アメリカ)							
BROADRIDGE FINANCIAL SOLUTIONS	43.82	37.93	733	113,335	資本財・サービス		
FIDELITY NATIONAL INFORMATION SERVICES	49.91	43.2	303	46,942	金融		
WR BERKLEY CORP	165.5	136.63	1,102	170,329	金融		
DOLLAR TREE INC	22.74	19.68	243	37,617	生活必需品		
DENTSPLY SIRONA INC	104.29	92.44	280	43,348	ヘルスケア		
ALLIANT ENERGY CORP	153.29	146.87	711	109,843	公益事業		
FORTIVE CORP	54.99	62.64	502	77,596	資本財・サービス		
TE CONNECTIVITY LTD	33.67	17.68	250	38,636	情報技術		
SS&C TECHNOLOGIES HOLDINGS	191.43	165.71	998	154,187	資本財・サービス		
ARAMARK	191.08	169.15	527	81,411	一般消費財・サービス		
DTE ENERGY COMPANY	—	28.42	299	46,210	公益事業		
CBOE GLOBAL MARKETS INC	19.69	11.49	203	31,405	金融		
GLOBAL PAYMENTS INC	27.7	23.97	294	45,521	金融		
BURLINGTON STORES INC	16.62	14.38	258	39,960	一般消費財・サービス		
TELEFLEX INC	44.16	45.2	941	145,426	ヘルスケア		
HUNT (JB) TRANSPORT SERVICES INC	49.77	43.08	724	111,876	資本財・サービス		
CATALENT INC	85.86	74.32	415	64,239	ヘルスケア		
CLEAN HARBORS INC	17.07	16.21	310	48,017	資本財・サービス		
WEX INC	64.94	56.23	1,292	199,648	金融		
LPL FINANCIAL HOLDINGS INC	30.27	22.53	583	90,169	金融		
AMDOCS LTD	103.65	89.72	761	117,697	情報技術		
CIMPRESS PLC	58.43	50.58	456	70,492	資本財・サービス		
ICU MEDICAL INC	29.41	25.45	244	37,690	ヘルスケア		
REGAL REXNORD CORP	9.48	—	—	—	資本財・サービス		

## ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
L3HARRIS TECHNOLOGIES INC	34.28	29.67	597	92,298	資本財・サービス
NXP SEMICONDUCTORS NV	40.58	35.14	797	123,165	情報技術
ZIFF DAVIS INC	30.78	26.64	133	20,668	コミュニケーション・サービス
SAREPTA THERAPEUTICS INC	23.3	20.16	237	36,709	ヘルスケア
KLA CORP	7.3	4.83	318	49,162	情報技術
LAM RESEARCH CORP	5.66	2.61	238	36,776	情報技術
ATLIASIAN CORP PLC-CLASS A	9.49	—	—	—	情報技術
RYANAIR HOLDINGS PLC-SP ADR	50.65	43.84	597	92,329	資本財・サービス
NICE LTD - SPON ADR	31.2	27.02	622	96,216	情報技術
RB GLOBAL INC	61.88	53.56	392	60,565	資本財・サービス
GILDAN ACTIVEWEAR INC	168.03	136.62	481	74,301	一般消費財・サービス
WAYFAIR INC- CLASS A	5.84	25.28	138	21,378	一般消費財・サービス
TRANSUNION	53.34	37.38	260	40,202	資本財・サービス
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	133.42	111.35	947	146,312	情報技術
ASCENDIS PHARMA A/S - ADR	24.05	19.62	278	43,084	ヘルスケア
GODADDY INC - CLASS A	135.98	117.71	1,440	222,468	情報技術
FRONTDOOR INC	52.35	—	—	—	一般消費財・サービス
ARGENX SE - ADR	7.82	6.78	248	38,349	ヘルスケア
STERIS PLC	24.07	18.46	369	57,095	ヘルスケア
INGERSOLL-RAND INC	102.64	64.59	578	89,360	資本財・サービス
DAYFORCE INC	87.25	75.53	463	71,561	資本財・サービス
CORTEVA INC	88.59	82.82	443	68,477	素材
REVVITY INC	78.89	71.73	721	111,403	ヘルスケア
AVANTOR INC	232.88	201.59	491	75,913	ヘルスケア
DYNATRACE INC	67.34	46.39	206	31,835	情報技術
DOORDASH INC - A	—	17.12	224	34,614	一般消費財・サービス
VAXCYTE INC	—	31.44	196	30,317	ヘルスケア
SENSATA TECHNOLOGIES HOLDING	226.7	196.25	657	101,487	資本財・サービス
ON SEMICONDUCTOR CORP	137.23	108.19	697	107,735	情報技術
AMEREN CORPORATION	74.83	63.99	460	71,094	公益事業
WABTEC CORP	74.13	64.16	927	143,251	資本財・サービス
WATERS CORP	13.52	11.72	356	55,064	ヘルスケア
FERGUSON PLC	46.5	40.26	851	131,485	資本財・サービス
RENTOKIL INITIAL ADS EACH REPRESENTS	19.43	128.45	362	56,049	資本財・サービス
TFI INTERNATIONAL INC	37.17	33.59	484	74,882	資本財・サービス
TELEDYNE TECHNOLOGIES INC	20.52	18.77	751	116,046	情報技術
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	33.45	—	—	—	ヘルスケア
LIBERTY MEDIA FORMULA ONE CORP SER	115.32	99.82	671	103,733	コミュニケーション・サービス
LIBERTY MEDIA FORMULA ONE CORP SER	6.82	9.72	57	8,957	コミュニケーション・サービス
VERALTO CORP	33.25	39.55	358	55,316	資本財・サービス
VESTIS CORP	72.44	—	—	—	資本財・サービス
API GROUP CORP	—	61.37	227	35,129	資本財・サービス
COOPER INC	—	43.56	391	60,460	ヘルスケア
UL SOLUTIONS INC CLASS A	—	15.77	53	8,279	資本財・サービス
SCHWAB (CHARLES) CORP	30.21	26.15	189	29,283	金融
FLEX LTD	415.25	359.47	1,009	155,910	情報技術
ILLUMINA INC	17.7	12.77	151	23,332	ヘルスケア
SEALED AIR CORP	47.34	—	—	—	素材
CARMAX INC	86.09	74.52	510	78,880	一般消費財・サービス

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
COOPER COS INC/THE BOSTON SCIENTIFIC CORP	百株 12.58 237.53	百株 — 195.9	千アメリカ・ドル — 1,331	千円 — 205,638	ヘルスケア ヘルスケア
ファンド合計	株数、金額 4,883.39	4,305.37	34,366	5,308,196	
	銘柄数<比率>	69銘柄	68銘柄	<94.0%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## (2)外国投資証券

銘柄	□数	□数	期末	
			評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ) LAMAR ADVERTISING CO-A	千口 7.236	千口 4.416	千アメリカ・ドル 488	千円 75,467
合計	□数、金額 7.236	4.416	488	75,467
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	<1.3%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2024年4月18日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 5,308,196	% 84.2
投資証券	75,467	1.2
コール・ローン等、その他	921,892	14.6
投資信託財産総額	6,305,556	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝154.46円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(5,586,028千円)の投資信託財産総額(6,305,556千円)に対する比率は、88.6%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年4月18日現在

項目	当期末
(A)資産	6,305,556,579円
コール・ローン等	914,018,001
株式(評価額)	5,308,196,893
投資証券(評価額)	75,467,031
未収入金	5,615,905
未収配当金	2,258,749
(B)負債	656,293,546
未払金	3,393,546
未払解約金	652,900,000
(C)純資産総額(A-B)	5,649,263,033
元本	2,085,691,315
次期繰越損益金	3,563,571,718
(D)受益権総口数	2,085,691,315口
1万口当り基準価額(C/D)	27,086円

\* 期首における元本額は2,447,840,359円、当作成期間中における追加設定元本額は86,809,076円、同解約元本額は448,958,120円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：  
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド(為替ヘッジあり) 185,741,756円  
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド(為替ヘッジなし) 1,899,949,559円

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は27,086円です。

# ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

## ■損益の状況

当期 自 2023年10月19日 至 2024年 4月18日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>29,964,591円</b>
受取配当金	25,923,432
受取利息	3,896,588
その他収益金	147,509
支払利息	△ 2,938
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>871,457,676</b>
売買益	1,063,202,364
売買損	△ 191,744,688
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 1,153,154</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>900,269,113</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>3,278,053,561</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>△ 732,941,880</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>118,190,924</b>
<b>(H) 合計 (D + E + F + G)</b>	<b>3,563,571,718</b>
<b>次期繰越損益金 (H)</b>	<b>3,563,571,718</b>

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P<sup>®</sup>、S & P 500<sup>®</sup>、US 500、The 500、iBoxx<sup>®</sup>、iTraxx<sup>®</sup> および CDX<sup>®</sup> は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones<sup>®</sup> は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJI に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドは、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。